



東京多摩プロバスニュース

第 99 号



■事務局: 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 1-53-28 鈴木泰弘方 ■電話: 090-4846-7183

■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com> ■編集・発行: 広報委員会 2022. 3. 2.

共に学びながら、高齢化社会に貢献しよう

第 211 回 定例会

日 時 : 令和 4 年 1 月 12 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館 8 階 第 3 学習室

出席者 : 13 名 (会員数 : 19 名)

第 212 回 定例会

日 時 : 令和 4 年 2 月 2 日(水)予定するも中止

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



それぞれに、胸に刻んだ思い

片倉満研修・親睦委員長

私の当クラブ入会が 2020 年 7 月でした。WHO からのパンデミック宣言がなされて 3 ヶ月後となります。7 月は誕生月にあたり、幸運にも入会即、誕生祝いとしておしゃれなステンレス製小型水筒をいただきました。心臓の手術を受けている身なので体力維持のためスポーツジムに通い、そこでの水分補給に重宝であり、大事に使用させていただいております。コロナ感染はいまだに広がっており、なかなか事業活動が満足にできなく活動意欲が薄らぐ中で、クラブの設立理念を見直しました。



理念の 4 項目、とりわけ 3 番目の「会員同士の交流と意欲の向上をはかる」に注目をしておりました。定例会での卓話、講話から人生経験豊かな知恵を学ぶこと

や、興味深い知識を得ることができます。それは浅薄な私自身に勉強せねばと向上心を刺激してくれ、大変に有難いことです。一日も早くコロナ感染の猛威が収まり、定例会の実施を望んでおります。

今この時期、冬季北京オリンピック 2022 が開催され、終盤を迎えております。若い日本選手が世界最高のパフォーマンスを披露しメダル数も国内史上一番の獲得となっています。その中、最高技術レベルを維持してきたフィギュアスケートの羽生結弦選手は 4 位、500m スピードスケート小平奈緒選手は 17 位でした。前者は努力を必死にやっても報われないことを知ったと言い、後者はここまで練習してきたが自分が情けない、と競技後の談話を

されました。それぞれに深く胸中に刻む時に会い、今後の人生を大きく開いて進んでいくことは違いありません。

私には 70 歳までの人生行動は人にやさしくなかったと思いあたり、これからは謙虚に、誠実に接することで償って行こうと猛省する機会がありました。

限りある残りの人生をその決意で、理念第 1 項目「豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する」に取り組んで参ります。



鶴牧東公園と鶴牧西公園をつなぐ橋で両公園を往来できる。

1. 幹事報告

小林務幹事

新型コロナ感染状況も昨年末以後感染者数も下げ止まりの様相を示し、お陰様で1月定例会は1月12日関戸公民館第3学習室に於いて無事開催出来ました。欠席者も有る中13名の会員により時節柄簡素化しレジュメに添って進行了しました。幹事報告は次のとおり。

1.1. 理事会；1月26日、2月16日開催予定の理事会、コロナ感染者激増により中止と致しました。

1.2. 定例会；2月、3月定例会は中止と致しました。

1.3. 日野プロバスクラブ

創立10周年記念式典：ホテルエミシア東京立川、多摩プロバスクラブは2名のご招待を受け高村会長、小林幹事が出席の予定でしたが1月13日、日野プロバスクラブよりコロナ感染者急増の傾向に鑑み急遽中止との連絡を受けました。

1.4. 横濱プロバスクラブ

今年は創立20周年記念となりますが、式典祝賀会は中止として記念誌の発行を予定しています。多摩プロバスよりお祝いの挨拶文寄稿依頼あり、高村会長より挨拶文送付いたしました。

1.5. 八王子プロバスクラブ

第26回生涯学習サロン開催の連絡を昨年末に受けておりました、1月定例会当日皆さんに参加希望について伺いました。小林他1名の参加希望があり、開講日2月24日には高村会長がご挨拶を述べる予定でしたが2月2日馬場幹事より電話にてコロナ禍により急遽中止との連絡頂きました。

1.6. 新春歩こう会

1月30日多摩市恒例の第38回新春歩こう会、当クラブ3名参加予定も中止。

以上新型コロナオミクロンの猛威により殆どの活動が余儀なく中止となりました。暫くの間コロナ感染防止対策と自粛に心掛け、収束を祈りましょう。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

藤寄喬子委員長

1) 第211回定例会：1月12日(水)関戸公民館、第3学習室 出席：13名

誕生祝い：伊藤健一会員 堀内陽二会員

卓話：小林務幹事による「シベリヤ抑留の父帰る」

詳細3頁参照

2) 第212回、213回定例会：開催予定であった2月2日(水)、及び3月2日(水)の定例会はオミクロン株感染拡大を考慮し、中止の旨を会員に連絡した。

2.2. 研修・親睦委員会

片倉満委員長

コロナ感染、蔓延防止宣言下のために事業活動の打合せが出来ないため片倉の腹案です。

3月下旬～4月上旬実施予定「春のお花見桜見物会」は中止とします。

(代案) with コロナが可能となれば5月頃「ツツジ見学

会」予定。

会場：深大寺公園 交通手段：タクシーの相乗り

昼食：最寄りの飲食店 参加対象：会員、休会員、会友
実施時期の目途は4月の定例会までにお知らせする予定。

2.3. 地域奉仕委員会

澤雄二委員長

コロナ禍のため活動休止中です。

2.4. 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース99号を3月2日に発行・配布

2) 会員・休会員・会友からの寄稿を随時募集しております。(私と多摩・我が故郷・私の趣味・私の一品・対外活動・旅行記・エッセイなどテーマは自由です。400～1000文字。)

3) 2022年5月発行予定の会報は、100号を迎えます。

特集として、会員・休会員・会友の全員から、200～400文字のプロバスの思い出や期待など掲載する予定です。

詳細は別途依頼の予定。

*3) については、別途各位と相談の予定です。

2.5. 会員委員会

小林務委員長

新型コロナ感染も終息の見えたのも束の間、昨年末よりオミクロン株感染者が国内でも確認され、またまた不安の種が増してきた。我が東京多摩プロバスクラブ会員動向にも少なからず影響を及ぼし、会員の高齢化と合わせ会合の出席、交流等に感染不安を危惧してか此処数カ月上期に於ける退会者を含み、休会若しくは会友に変更を希望された会員数名の届出が有った。既に2年間に亘る新型コロナ感染が思わぬ処にダメージを与えていると考えます。今後全員で会員の増員拡大に尽力されます事をお願いします。

3. 事務局業務の報告

事務局 鈴木泰弘

1) 「東京多摩プロバスニュース」を下記に送付している。

*送付先(32か所・計100部)

多摩市関係：多摩市長・市議会議長・教育長・教育部・くらしと文化部・行政資料室

市内関係団体：多摩ロータリークラブ・国際交流センター・文化団体連合・社会福祉協議会・ボランティアセンター・関戸公民館と関・一つむぎ館

他プロバスクラブ等：八王子・日野・日本橋・品川・横濱・埼玉浮き城・鎌倉・川崎西・四街道・わたらせ・本庄・大阪・旭川・五所川原・北九州・相模原東ロータリークラブ・立川富美代氏・森山功氏・全日本プロバス協議会

*送付先プロバスクラブの会員数は推計500名である。

2) 他のプロバスクラブ発行の機関紙、通知等を受領し礼状を返送している。

*機関紙受領 八王子・日野・埼玉浮き城・大阪・旭川・全日本プロバス協議会・国際交流センター

(鎌倉・横濱は発行中断している)

3) 長期に亘り会員と顔を合わせる機会がなく、コミュニケーションが途絶えてはと危惧し、事務局に届く他クラブのニュース、通知、連絡等をコピーし必要に応じて会員・休会員・会友に郵送している。

シベリヤ抑留の父帰る

父小林光忠 1915 年(大正 4 年)～1979 年(昭和 54 年)享年 64 歳のシベリヤ抑留生活の一部についてお話しします。

1942 年(昭和 17 年)6 月召集令状により出征(兵隊検査甲種合格)、第 49 甲府連隊入隊から長崎佐世保港より中国旅順上陸、奉天、長春等中国大陆各地転戦(職務は歩兵 2 等通信兵)後、最終転戦地中国北東部(旧満州国)ハルピン市で敗戦の報せを受信、現地人・中国人も既に知り得て日本人に対する言動は戦時中とは逆転して特に兵隊は目の敵、相当な苛めと攻撃制裁を受けたそうです。

間も無く旧ソ連軍の中国侵攻侵略(目的は日本軍陸軍の壊滅とシベリヤへの収容)が始まり、旧満州国に暮らしていた民間人女子と子供を除く殆どの成人男子は捕虜としてシベリヤに連行されて重労働を課せられる。

日々の食糧も粗末で少量、特にシベリヤの厳冬期には寒さと栄養不良により死者続出、私の父親の抑留期間 4 年数か月の間に数十万人の日本人が命を絶ったと言われる。抑留中、冬期の労働はシベリヤ鉄道沿線の樹木の伐倒とシベリヤ鉄道の補修、死亡した日本人の遺体を葬るために茶毘に付し、遺骨は土中に埋葬、冬季以外の作業は石炭の採掘が主な仕事であったと父親は苦しいに語ってくれた。

3 年程経ち日常の仕事にも慣れ、挨拶程度のロシア語も覚えた頃に捕虜収容所の移動を命ぜられる。場所は旧ソ連領のウズベキスタンのタシュケントの街、戦争で破壊された建物の補修作業と使用不可建物の解体作業を現地人の指示により毎日の労働を課せられ、月に 4 日程の休みもあり食糧事情も大分良くなりシベリヤの収容所よりも温暖な土地に 1 年程過ごした。

或る日、上司から日本に帰国の許可が出た事を知らされる。父親も喜びと同時に敗戦の日本がどんな状況か家族の安否も全く分からず帰りたい気持ちと複雑な思いに悩んだそうである。現地に残り今の生活が続ける事も頭を過り、同僚にも悩みを打ち明けたが最終的に母国日本に帰ることを選択し、残される仲間と別れる事も辛かったと言った。

かくて 1949 年(昭和 24 年)12 月帰国の途に着いた、シベリヤ鉄道を乗り継ぎイルクーツクからウラジオストックの日本の帰国船興安丸の待つナホトカの港に到着、冬の日本海シケにより 2 日間、港の旧ソ連軍施設に勾留され、漸く乗船前の検閲はロシア軍支給の衣類等自身の持ち物は返却没収され、日本国支給の防寒服に着替えて身体一つで乗船、興安丸の船中においては日本外務省の支給品食糧、小物類を入れる背嚢が支給された。船は荒れ模様の日本海を一路舞鶴港に向かう。

12 月 24 日 12 時入港、入国審査終了後、14 時待合室にて 8 年振りの父子の対面はお互いに涙も無く、必ずしも幸せな対面とは成らなかった。何故ならば私達子供は母子家庭と思っていた処に突然父親が現れた。普通の親子の関係

小林務会員



に戻るにはかなりの時間を要した。戦争とは無意味で惨い事である、二度と繰り返してはならない。

山梨に帰郷、駅頭に迎えてくれた村中の人々、日の丸の小旗と小林君お帰りなさいと皆さんがお祝の言葉を掛けてくれた事、子供心に思い出されます。家に帰り母親と近所の皆様に手伝って戴いた心尽くしのお祝の席が賑やかに深夜まで続いたそうです。

お祝の第一声の後に親戚の叔父から父にとって最も辛い報告を受けなくてはならない、1 件は 1946 年 2 月に父親の他界、2 件目は 1948 年 10 月帰国前年妹の不慮の死亡、其々留守中の家族の変化に衝撃と驚き、悲しみを感じた。帰国の喜びも束の間辛い瞬間で有ったと思う、私と兄は旅疲れの為に早々に眠ってしまった。

帰国後の生活も大変であった様でした。生活の立て直しと 3 人の子育て、年が明けて自分の畑、山林の状況見聞見学、変わり無い故郷の光景に安堵した。初めての仕事は前年秋に妻が播いた畑の麦が青く芽を出していた、その麦路をしながら日本に帰った喜びをかみしめたそうです。

父親は何故か抑留中のことは語る事を頑なに拒否続けたが、晩年 62 歳の時に肝臓を患い肝硬変にて 64 歳の人生を終わらせたが、父が戦中戦後の生き様を語ってくれたのは、亡くなる 1 年程前に肝臓癌闘病中の「とらの門病院」溝口分院療養中の枕元でボツリボツリ語ってくれました。

シベリヤ抑留を含め 8 年近く戦争の為に父は山梨に嫁、3 人の子供と妹、父親の 6 人の家族を残して日本を離れ中国大陆での戦闘参加、幸か不幸か戦地での銃の発砲訓練もさせられたが、所属部隊の任務が通信兵として主に通信機器の運搬が任務の為に、人に向けて銃を発射した事が無かったことは唯一の思い出であったと言葉少なく語ってくれた。

私の父のシベリヤ抑留生活の 4 年の間の一部を記しました。戦争は二度と繰り返してはならない、心に誓い戦後のシベリヤ抑留者の唄ったといわれる流行歌「異国の丘」の一節を記して、多くのシベリヤ抑留犠牲者となられた御霊に謹んで追悼の意を表し安らかに眠り下されますようお祈り申し上げます。

「異国の丘」 作詞：増田幸治 作曲：吉田正

- 1、今日も暮れゆく 異国の丘に
友よ辛かる 切なかる
我慢だ待てる 嵐が過ぎりゃ
帰る日も来る 春が来る
- 2、今日も更けゆく 異国の丘に
夢も寒かる 冷たかる
泣いて笑って 歌って耐えりゃ
望む日が来る 朝が来る
- 3、今日も昨日も 異国の丘に
おもい雪空 陽が薄い
倒れちゃならない 祖国の土に
辿りつくまで その日まで

思い出の写真

永田宗義会員

「彩空間の美しさを写真に！」とのテーマで全く構造物の入らない自然の四季折々の美しさや変化などを写真に撮ろうと四季折々の都内・都外の幾つかの公園や近県の山梨・長野・千葉・群馬の観光スポットへバスツアーや自家用車で訪れて撮影をしてきた。これらの写真を厳選しながら、貝取にあるコーヒーショップ「白樺」にて平成 18 年 5 月に写真 30 点で 1 回目の写真個展を開催した。以降、10 回目を平成 29 年 5 月にほぼ毎年開催した。毎回 30 点から 35 点の写真を展示させていただき、その中から印象に残った思い出の写真を紹介したいと思います。

富士山は何枚もテーマとして撮影してきましたがモノクロトーンの雄姿を、厳然としてそそり立つ富士山が朝霧高原を訪れたときは見ることできずくに休憩中に雲の切れ間からくっきりと姿を現し、またとない写真になった。



雲間の晩冬富士山 2012 年 2 月 5 日 朝霧高原にて



昇陽瞬間での田代池 2011 年 10 月 19 日 松本市上高地にて

次に何回もバスツアーで上高地を訪れて、何枚も自然の美しさを折々に撮影してきたが、満足いかずに一泊して翌朝 8 時前にホテルを後にして大正池方面に歩いて行った。田代池近くで朝日が差し始め、樹氷で氷ついた木々の枝が溶け始めて、朝霧が空中に広がり、数分の変化を写真にとることができ心をふるわせた。

最後に、毎年 2 月中旬に東京ドームにて開催されている世界ラン展にほとんど毎回見学に行っているが、特別ブースに展示された新種のランが人だかりで、それを撮影したのが新種の胡蝶蘭だった。



新種の胡蝶蘭 2014 年 2 月 17 日

「蒼空に生きた伯父 鈴木文一」の終戦秘話

鈴木泰弘会員

明治 42 年生まれの鈴木文一伯父の陸軍パイロット人生を「自分史 蒼空に生きる」から抜粋し紹介します。

平成 16 年 12 月死去 享年 95 歳

昭和 3 年 18 歳で浜松の第 7 連隊に入隊し、その後荒鷲への登竜門である所沢陸軍飛行学校に入校し、第 36 期操縦学生としてパイロットになった。伯父は心技体に恵まれ天性の操縦技術、機関工術、共に技量優秀で、2 時間 30 分という驚異的な短時間飛行で単独の操縦飛行を許され、その卒業式では高等曲技飛行を天覧に供することになる。

航空兵として満州事変、支那事変、大東亜戦争で各種軍務に従事した後、33 歳の時に航空本部航空総監部附及び大本営飛行班のリーダーとして、VIP 専属機長を命ぜられた。

東条総理、航空総監、比国大統領、侍従武官、後宮軍事参議官などの国内外出張に数多く同行していたが、昭和 20 年頃から戦局は苛烈を極め、本土決戦必至の即応態勢となるに及んで高官の外地出張は少なくなった。6 月本土決戦に向けて飛行場候補地の偵察飛行に河辺航空総監一行を京

城に送るため出発したが、帰京後ジフテリアと診断され入院隔離となった。

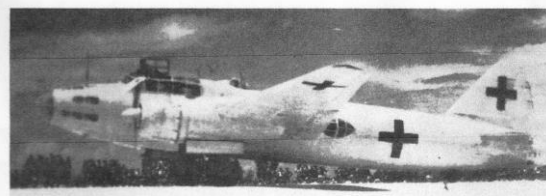
翌月、軍事参議官後宮元帥一行を台湾方面に送る。この時期は沖縄失陥でこの地区の敵機動部隊の制空権範囲内で、電探警戒で神経をすり減らす航程であったが、無事 7 月末に任務終了し母親の葬儀と病後の休養で自宅休養に入る。

8 月自宅で玉音放送を拝聴し急ぎ大本営に出勤すると、マニラのマッカーサー連合軍司令部に降伏軍使の空輸を内示された。それも連合軍からは昭和天皇陛下を出頭させよとのことであった。

「陛下のマニラ御出向は交戦の最中にて極めて危険である。連合軍の参謀連中にも強硬分子が多く、陛下に対しどのような態度に出るか不安でもあり、また国内には徹底抗戦の強硬派が厚木におり妨害行動は必至で、万が一阻止され出頭できなかった場合、司令部側がどのように出るか不明でもあり、ここはその代理者で交渉すべき」と進言した。

その結果全権委任状を所持した代理者でもよいとなり、河辺参謀次長がその任にあたることにより早川大尉操縦の海軍機を使用することとなり伯父の任務は解除された。

ホッとする間もなく、今度は、聖旨伝達に竹田宮殿下が



昭和20年終戦後「軍使」に使用した海軍一式陸上攻撃機。機体を白く塗り緑十字を書き、尾翼に黄色の日の丸を描いた。

朝鮮軍と関東軍へ行かれることになり、伯父が担当するこ

とに、支那総軍に向けては朝香宮殿下が派遣されることとなり酒井航総班長の担当に、南方総軍に対しては閑院宮殿下が満州へ派遣される際、鈴木貫太郎総理から内々で満州国皇帝が内地同行を希望されたなら奉天からお連れするよう依頼されたようだが、ソ連軍の進駐が早く断念せざるを得なかった。帰還飛行中残念ながら一行はソ連軍に抑留されてしまったと無電で知った。それでも妨害、抵抗もなく何とか大任を恙なく全うした。外地への飛行はこれが最後となった。

オンライン会議ははじめました！ 伊藤健一会員

オンライン会議が盛況だ。当クラブもコロナ禍で定例会はもとより、これまでずっとがんばって続けてこられた理事会もオミクロンの蔓延でとうとう休止という知らせが先日入った。いよいよオンライン会議の出番か、と遅まきながら思った。

オンライン会議サービスもいろいろあるようだが、使用目的に合ったサービスはないかといういろいろ調べてみた。Zoomはリモートワーク、学校のオンライン授業などで使われ、世界的にも国内でもよく知られている。とくにコロナになってから一般に知れ渡るようになったようだ。オンライン会議のツールとして、サークル内などで手軽に使えるものとして、LINEのグループ通話がある。グループLINEはチャット機能を使つての仲間内でのコミュニケーションに使ったり、手軽にグループ内でビデオ通話ができる。ところがグループLINEでは新しいお客様などを一度限り入っていただくためには、まずLINE友達になつてもらい、その上でグループLINEに招待するという最低2段階の手間が必要となり、非常にハードルが高い。

その点Zoomは、招待する相手にメール等でURLリンクを送りそれをクリックするだけ、時には会議のIDとパスワードを入力さえすれば会議に参加できるので参加するに際しハードルは低い。Zoomはセキュリティーの脆弱性が最近、問題視されたが、それは別にして一番の難点は有料だということだ。1対1(2人)での会議なら24時間まで、3人以上の会議の場合は40分までが無料だが、会議となると最低でも1時間は欲しいところだ。会社等で頻繁に使うのなら別だが、月にせいぜい数回程度しか使わないのであれば月額2000円を払うのはもったいない。

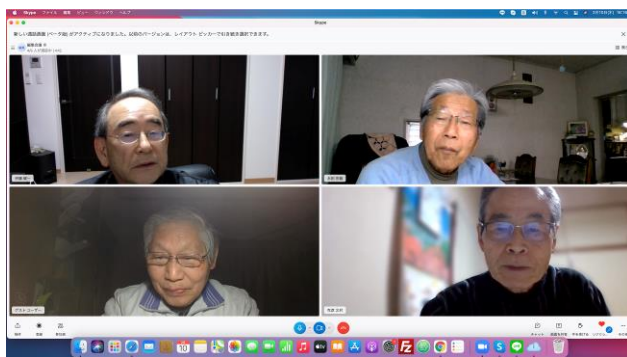
いろいろ調べてみてGoogle Meetが良いのではないかと一度は考えた。これは1時間までは無料だ。だが、これもGoogleアカウントがないと会議に参加できないのが、なお難点だ。また、1時間内で終われる会議は限られてくる。できればもっと長い時間も使いたいところだ。

時間制限のない無料のビデオ会議は、いくつかあるようだが、なるべく多く使われていて、なじみのあるものがないものだろうか？日本以外の国では、Facebook Messenger、WhatsApp、Kakao Talk、さらにTeamsとかもよく使われる

らしい(?)が、日本人にはややなじみが薄いように思われる。結局のところZoomに月額料金を払うしかないかと腹を決めかけたというか、諦めかけた。そのような時に、目的に叶いそうなのが見つかった！

スカイプ(Skype)の新サービスでMeet Nowというものだ。スカイプはよく知られた老舗サービス、マイクロソフトがやっているので安心感もある。無料で時間制限なしということで、早速試しにまずは、広報の編集会議で使ってみようと思立った。登坂広報委員長と相談し、試験的に1対1で使用テストをしてみたところ、画像、音声もとくに問題なさそうだ。あとは、実際に編集会議で使ってみて評価することにした。

2月10日に初めてのオンライン編集会議を行ったところ、私のパソコンが一時フリーズしてしまって慌てたり、多少のトラブルは有ったがなんとか1時間の会議は概ね成功裏に終えることができた。今回、参加者全員パソコンを使用しているオンライン会議だったので、互いにモニターに大きく映し出されるので、対面と変わらない雰囲気での会議ができたように思いました。



はじめてのSkypeオンライン編集会議の様子；筆者は左上

その後、さらに調べたり試行錯誤してみたりした結果、現時点では通信の安定性などの点ではZoomがやはりいいかなと感じています。Zoomにせよ、スカイプ(Meet Now)にせよ、使い勝手など今後さらに使用評価して、目的に応じ使い分けられたいと思っています。

願わくば、オンライン会議を当クラブの他の委員会、理事会等でも活用していただくようになり、このコロナ禍の時代を乗り切っていければと思います。

1. 1月に誕生日を迎えられました！



堀内陽二会員

伊藤健一会員

堀内さん:91 歳になりました。これからも好きな囲碁を友としてまいるしたいと思います。

伊藤さん:健康第一！食べ過ぎ、飲みすぎ注意。要休肝日。

2. 2月に誕生日を迎えられました！



小林務会員

小林さん:中止の2月の定例会の日が誕生日 2 並びの 2022-2-2
81 歳元気に迎えられた事に感謝します。

新型と言えども良いとは限らざる？

オミクロンなんて言う名称がついたコロナウイルスです。私達プロビアンもじっと耐えて忍ぶこと2年余りになります。

ここにプロバスニュース 99 号をお届けします。

巻頭言で片倉満さんが述べられていますように、会員同士の交流と意欲の向上をはかる機会でもある定例会を奪われています。会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

この間、色々な制約の中、冬季オリンピック大会が北京で開催されました。関係者のご苦勞と選手たちの頑張りを暖かい家の中で観戦することが出来ました。それ以外でも皆さんは色々感じられた事、考えられた事も多いかと思ひます。

小林務会員はシベリヤ抑留の御父上がお帰りになられたこと、鈴木泰弘会員は伯父上の戦時、戦後の事をあらためて思い起こされています。永田宗義会員は、ご趣味の写真の作品をあらためて思い起こされています。一瞬のシャッタータイミングで捉えた素晴らしい作品です。

顔を合わせて直接お話しできないなかで、有効な手段として活用されるオンラインによる会議がもてはやされています。従来、プロバスニュースの編集は、編集委員が顔を合わせて作成していますが、この状況下ではそれは出来ません。そこで私たちもオンラインによって編集会議を行いました。その経緯を5ページに紹介しました。

(北村克彦会員記)

多摩プロバスソング

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫
編曲 小林 英吉

Vocal

1

り の さ く あ お ー ぎ つ つ た こ
ほう ふ ー を あ ー ぜ つ つ

Vocal

の な が れ に み ー を さ よ め て い
ろ の ご う を み ー が ー き あ

Vocal

み どり の も り に か こ ま れ た わ が ふ る さ と の ゆ く す え と し ゃ
ゆ た な ち し き み に つ け て つ ぎ の せ だ い の わ こ う の お

Vocal

か い ほ ー し に ち か う と そ ぞ く つ ど
し え み ち び く か ー と ー な

Vocal

う わ れ ー ら プ ロ バ ス ク ラ ブ プ ロ
う わ れ ー ら プ ロ バ ス ク ラ ブ

Vocal

バス プ ロ バ ス た ま プ ロ バ ス ク ラ ブ
バス プ ロ バ ス た ま

Vocal

2

れ い プ ロ バ ス ク ラ ブ

東京多摩プロバスソング

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

多摩プロバスクラブ
プロバス プロバス
集う我等プロバスクラブ
社会奉仕に力をそそぐ
我が故郷の行く末と
緑の杜に囲まれた
多摩の流れに身を清めて
聖の桜仰ぎつつ
霊峰富士を仰ぎつつ
心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて
次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス
多摩プロバスクラブ